

少女は、なぜ死ななければならなかったのでしょうか？
生きたい・・・折り鶴に願いを込めた少女の物語。
命の大切さ、それは自分を見つめることから・・・。

折り鶴の少女

サダコ

作 たいらまさお

構成・演出 伊集院 晃生

作曲 沼口 公憲

公演時間 約50分

出演者 2名

スタッフ 7名

料金

平和学習・情操教育の一環としても、
当公演は大変好評を得ております。
学校での公演に関しましては、ご予算に見
合うよう、公演内容の調整などを行うこと
も可能ですので、ぜひご相談ください。



ピアノとフルートの生演奏が加わった
朗読劇で「平和・命の尊さ・愛する心」が
優しく、そして強く心に響きます。



フルート : 中西 久美

キーボード : 沼口 公憲



「鶴を折ると
願いごとがかなうんじやと」
「え、ほんま？」
「うちの母ちゃんが言ううとつたよ」
「そんならうち、千羽折ろう」



あらすじ

昭和30年10月28日、ひとりの少女の死を知らせる新聞の
記事が出ました。

「十四人目、禎子さんの死。原爆症、昨秋から異常訴う」
戦争が終わって、10年が過ぎたというのに、
広島に住むこの少女は、なぜ死ななければならなかったの
でしょうか？

management office

ACTORS AGENCY AND TOTAL PRODUCTION
active HAKATA
LTD.
<http://www.active-hakata.com>

有限会社アクティブハカタ

〒812-0024 福岡市博多区網場町6番13号 TEL 092-271-5604 FAX 092-271-1190
担当/山下 裕幸 yamashita@active-hakata.com